



読みましょう

腕時計

海外出張中に、原因不明の飛行機事故で主人が亡くなり、もうすぐ3年になる。口数のあまり多くなかった主人が、「定年になつたらいなかに引っ込んで、時計とは縁のない生活をする」とくり返し言っていたのが、今も耳に残っている。時間に追われる生活をきらっていた主人が、「空港で新しいのを買うから」と言って腕時計を残して行った。何ももどって来なかつた事故の思い出として、それが唯一残った。

事故を忘れようと、主人を亡くしてからしばらくは、外出するときや仕事に行くときに時計を持たなかつた。初めは不便に感じることもあったが、時間が経つにつれて、不便に思うどころか、かえって気持ちに余裕が持てるようになった。
歩きながら「だいじょうぶかな、間に合うかな」と何度も時計を見たり、電車を待ちながらいらいらすることは、もうすっかりなくなった。

不思議なことに、家の中でも、あまり時計を見なくなつた。時計を見ないからといって、時間を意識しないわけではない。今だいたい何時ごろだろうとか、何分経つだろうと見当をつけて生活している。それが大きく外れることはない。
以前は、時計を見るたびに「あと何分」と時間に追われて生活していた。それが、「そろそろだな」と腰を上げ、出かける支度や食事の準備に取りかかる生活に変わってきた。

主人は出発前にどんな時計を買ったのだろうか。いつもの調子で、機内で何度も何度も時計を見ているときに、事故が起つたのではないだろうか。私は今、
「いなかに引っ込みはしなかつたけれど、時計のない生活に慣れて、時間に振り回されず、『時計と縁のない生活』ができていますよ」と、ときどき主人の腕時計に語りかけている。



答えましょう

A 「腕時計」の文を読んで、質問に答えましょう。

1. ご主人はいつ、どうして亡くなりましたか。
2. ご主人の口癖は何でしたか。
3. 事故を忘れるために、筆者はどんなことをしましたか。
4. それを不便に感じましたか。
5. 筆者はどうして時計を見なくなりましたか。
6. 今の生活は、前と何が違いますか。
7. どんなときに、事故が起つたのではないかと言っていますか。
8. ご主人の腕時計にどんなことを語りかけていますか。

B 友達と次のことを話してみましょう。

1. ご主人の腕時計に語りかけるとき、筆者はどんな気持ちでしょうか。
2. 時計を見ずに生活ができると思いますか。



使いましょう

A 「～(よ)うと」という言い方を練習しましょう。

例

1. 少しでも運動をしようと、毎日30分歩くことにした。
2. できるだけ日本語を話そうと、インターネットで会話の練習をしている。
3. 娘に音楽の勉強をさせようと、両親はバイオリンを習わせた。

練習

1. 少しでも運動をしようと、_____ことにした。
2. できるだけ日本語を話そうと、_____している。
3. 子供を留学させようと、両親は_____。
4. もっとやせようと、_____始めた。
5. _____(よ)うと、_____の予約をした。



まとめましょう

次の質問に答えて、「腕時計」の文をまとめてください。

1. 筆者が時計を持たなくなったのはどうしてですか。
2. それによって生活はどう変わりましたか。
3. 今、ご主人にどんなことを伝えたいと思っているのですか。



話しましょう

次のことを話し合ったり、作文に書いたりしましょう。

1. 「時間と生活」

- 1日の生活時間はどのようなものですか。
- 「時計と縁のない生活」をしたいと思いますか。
- それはどうしてですか。

2. 「余裕のある生活」

- 毎日忙しいと思っていますか。
- それはどうしてですか。
- どんな生活が「余裕のある生活」だと思いますか。



漢字を練習しましょう

A 青い漢字の読み方と書き方を練習しましょう。

原因 [げん・いん]

不明 [ふ・めい]

主人 [しゅ・じん]

亡くなる [な・くなる]

定年 [てい・ねん]

追う [お・う]

忘れる [わ・れる]

経つ [た・つ]

不思議 [ふ・しき]

調子 [ちょう・し]

慣れる [な・れる]

B 青い漢字の読み方をおぼえましょう。

出張 [しゅっ・ちょう]

縁 [えん]

腕 [う・で]

唯一 [ゆい・い・つ]

余裕 [よ・ゆう]

意識 [い・しき]

外れる [はず・れる]

腰 [こ・し]

支度 [し・たく]

起こる [お・こ・る]

振り回す [ふ・りま・わ・す]

語りかける [か・た・り・か・け・る]

つながる

新しい言葉

きび 厳しい	と 取り立てる	じょう 上げ	かげ 影をひそめる
びょうどう 平等ナ・ニ	～ざるを得ない	みぶん 身分	きやす 気安い
くち 口を利く	さえ	ば 場	はんぱつ 反発を買う
あつか 扱う	タテ	せいど 制度	はいし 廃止スル
はんえい 反映スル	ふさわしい	しぜん 自然ナ・ニ	つながる
かくにん 確認スル	むせきにん 無(責任)ナ・ニ	いき 息がつまる	じょうし 上司
～にしろ～にしろ	うえ 上に立つ	うえ た	めいかく 明確ナ・ニ
やくわり 役割	そんざい 存在スル	ぶか 部下	いちにんまえ 一人前
そだ 育てる	(～た) うえ 上で	う 受け入れる	けつか 結果
たが お互い	きず 築く	か 交わす	かんげい 歓迎スル
きらく 気楽ナ・ニ	う 生み出す	うしな 失う	～つつある
しんけん 真剣ナ・ニ			



いっしょに考えましょう

- ① 困ったことがあるとき、誰にそうだんしますか。
- ② ご両親にしかられたことがありますか。それはどんなときですか。
- ③ 友達とけんかをしたことがありますか。それはどんなときですか。



読みましょう

タテとヨコ

親子関係が友達のようになり、先生に対して学生や生徒は、まるで仲間のように話す。親も先生も、人間関係が大切だからと、厳しいことは言わない。会社で敬語が使えない若い社員のことなど、もう取り立てて話すことでもなくなった。今は、長く続いた上下関係が影をひそめ、自由で平等なヨコのつながりを大切にする時代なのだ。

厳しい上下関係の社会では、その関係を守って生活せざるを得ず、身分が違えば気安く口を利くことさえできなかった。毎日の生活の場でも、上下関係を無視すれば、周りの反発を買い、仲間として扱ってもらえなかった。タテの関係は、身分制度が廃止されてからも長く家族や学校、会社内の人間関係に残り、日本は

10 「タテ社会」だと言われてきた。

時代を反映して、人間関係のあり方がそれにふさわしい形に変わるのは自然なことだ。しかし、自由で平等な関係を大切にする「ヨコ社会」には、「ひとりではない、誰かとつながっているのだ」と確認し、安心するために、電話をかけ、メールを送るだけのつながりしかない。そこでは、無責任な人間関係しか育たないという意見がある。確かに、タテの関係は息のつまりそうな厳しい人間関係ではあった。しかし、上司にしろ両親にしろ、上に立つ者には明確な責任と役割が存在した。子供や部下を一人前に育てることがその役割で、子供や部下はそのことを理解した上で、タテの関係を受け入れた。その結果、お互いが信頼し合える人間関係が築かれていた。

20 「ヨコ社会」では、厳しいやり取りを交わさなければならないような人間関係は歓迎されない。しかし、責任や役割のない気楽な関係が、信頼できる人間関係を生み出すことはない。タテの関係がすっかり見られなくなつたとは言わないが、ヨコのつながりが大切にされるようになった今、その影響で失われつつあるものが何か、真剣に考えてみる必要がある。

? 答えましょう

A 「タテとヨコ」の文を読んで、質問に答えましょう。

1. 今、親子関係や先生と学生、生徒の関係はどんな関係ですか。
2. 筆者は、今はどんな時代だと言っていますか。
3. 「厳しい上下関係の社会」とは、どのようなものでしたか。
4. その中で上下関係を無視すればどうなりますか。
5. 「ヨコ社会」とはどんな社会ですか。
6. タテの関係の中で、上司や両親の責任と役割は何でしたか。
7. 「ヨコ社会」では、何が歓迎されないとっていますか。
8. 筆者は、今、何が必要だと言っていますか。

B 友達と次のことを話してみましょう。

1. 筆者は「ヨコ社会」の人間関係をどう考えているのでしょうか。
2. 今の社会は、筆者の言うように「ヨコ社会」だと思いますか。

使いましょう

A 「～ざるを得ない」という言い方を練習しましょう。

例

1. 台風で飛行機が飛ばず、(そうしたくなかったが) 次の日まで空港で待たざるを得なかった。
2. 駅のトイレに携帯電話を忘れて、取りにもどらざるを得ず、仕事におくれてしまった。
3. 学校が手伝ってくれないのであれば、友達にそうだんせざるを得ないだろう。

練習

1. 台風で_____、_____ざるを得なかった。
2. かぜを引いて_____ざるを得ず、_____。
3. 友達が手伝ってくれないのであれば、_____ざるを得ないだろう。
4. _____(の)なら、_____ざるを得ないだろう。
5. _____ので、_____ざるを得ないと思います。

B 「～さえ」という言い方を練習しましょう。

例

1. 先週は忙しくて、家族からのメールさえ読めなかつた。
2. 人に会つたらあいさつをするということは、子供でさえ知っている。
3. この前のテストは難しくて、何を質問されているのかさえわからなかつた。

練習

1. 先週は忙しくて、_____さえ_____なかつた。
2. _____ということは、子供でさえ知っている。
3. 日本に来たばかりのころは、_____のかさえわからなかつた。
4. _____ということを、妹は姉の私にさえ教えてくれなかつた。
5. _____のに、妹はあやまりさえしない。

C 「～にしろ～にしろ」という言い方を練習しましょう。

例

1. 今は、個人にしろ会社にしろ、大切な情報は責任を持って管理しなければならない時代だ。
2. A: 最近、物が高くなりましたね。
B: そうですね。外で食事をするにしろ、旅行に行くにしろ、そのたびにどうすれば費用が安くできるか考えてしまします。
3. A: 今度の卒業旅行に行きますか。
B: ええっと、まだ、ちょっとわからないんです。
A: そうですか。行くにしろ行かないにしろ、(どちらにしろ、)決めたらだけ早く教えてください。

練習

1. _____にしろ_____にしろ、_____は、
_____なければならない。
2. A: しょうらいのことをまだ決めていない学生が多いですね。
B: そうですね。_____にしろ_____にしろ、_____。
3. A: _____か。
B: ええっと、まだ、ちょっとわからないんです。
A: ですか。_____にしろ、_____ないにしろ、決め

たらできるだけ早く教えてください。

4. _____にしろ_____にしろ、お金がなければできない。
5. _____にしろ_____ないにしろ、_____。

D 「～た上で」という言い方を練習しましょう。

例

1. (自分ひとりでは決められませんから、)両親や先生とそだんした上で、大学を決めようと思います。
2. (まだ自分のやりたいことがよくわからないので、)何がしたいのかよく考えた上で、どんな仕事をするか決めます。
3. (みんなが来られる日にしたいので、)みんなに確認した上で、次に集まる日を決めましょう。

練習

1. 両親とそだんした上で、_____。
2. _____かどうかよく調べた上で、_____。
3. みんなに確認した上で、_____。
4. _____た上で、旅行に行くかどうか決めましょう。
5. _____た上で、_____。

まとめましょう

次の質問に答えて、「タテとヨコ」の文をまとめてください。

1. 筆者は、「タテ社会」の人間関係はどのようなものだと言っていますか。
2. 「ヨコ社会」はどうですか。
3. 「ヨコ社会」で失われつつあるものは何だと思いますか。

話しましょう

次のことを話し合ったり、作文に書いたりしましょう。

1. 「私の友達」
 - 一番いい友達はどんな人ですか。
 - どうしてその人と友達になりましたか。

■その人とどんな話をしますか。

2. 「人とのつながり」

■ほかの人といっしょにいるほうが好きですか。ひとりでいるほうが好きですか。

■それはどうしてですか。



漢字を練習しましょう

A 青い漢字の読み方と書き方を練習しましょう。

平等[びょう・どう]	～ざるを得ない[ざるをえない]	反発[はんぱつ]
反映[はんえい]	確認[かく・にん]	息[いき]
存在[そん・ざい]	結果[けっか]	役割[やくわり]

B 青い漢字の読み方をおぼえましょう。

厳しい[きびしい]	上下[じょうげ]	影[かけ]
口を利く[くちをきく]	扱う[あつかう]	廃止[はいし]
自然[しぜん]	上司[じょうし]	お互い[おたがい]
築く[きずく]	交わす[かわす]	歓迎[かん・げい]
失う[うしなう]	真剣[しんけん]	

わける



新しい言葉

～通りニ	性格	タイプ	わける
けつえき 血液	い・がい 意外ナ・ニ	にん・き 人気	こる
というのも	(あいさつ)代わりニ		ルール
おも重んじる	なにこと 何事	しんちゅう 慎重ナ・ニ	こうどう 行動スル
けいこう 傾向	たいしょうてき 対照的ナ・ニ	らくてんてき 楽天的ナ・ニ	きまぐれナ・ニ
いんしょう 印象	あた 与える	～はというと	じつは
てんけいてき 典型的ナ・ニ	リーダーシップ	いっけん 一見	のんきナ・ニ
きつよ 気が強い	わがままナ・ニ	れいせい 冷静ナ・ニ	ものごと 物事
ぜんたい 全体	きやっかんてき 客観的ナ・ニ	さまざま 様々ナ・ニ	くち 口にする
かがくてき 科学的ナ・ニ	こんきょ 根拠	いいかげんナ・ニ	はんろん 反論スル
つきあう	ストレス	やわ 和らげる	たいさく 対策



いっしょに考えましょう

- ①自分の良い所、悪い所はどこだと思いますか。
- ②ほかの人から、自分の良い所、悪い所はどこだと言われますか。
- ③友達になりたくないのはどんな人ですか。



読みましょう

ABOAB

「何型か聞いてもいい」

「A型」

「やっぱりね、思った通りだわ」

人の性格を4つのタイプに分けて判断しようとする、血液型の話である。これ
が意外に人気があって、多くの人に信じられている。私もこれにこっているひと
である。というのも、周りにいる人たちの性格を考えてみると、確かにこれが
よく当たっていると思うからである。それで、初めて会った人にまで、ついあい
さつ代わりに「何型ですか」と聞いてしまう。

A型は、ルールを重んじ、人間関係を大切にし、何事も慎重に準備をしてから
行動する傾向があるそうだ。日本人にはこのタイプが一番多く、社会生活にもそ
れが反映されていると言われている。B型はA型とは対照的に、楽天的で声が
大きく元気な人が多い。また、自由な生活を大切にするが、それが時には気まぐ
れとなり、何を考えているのかわからないという印象を与え、画家や音楽家な
どに多いタイプと言われる。

O型はというと、実は、私も典型的なO型なのだが、「リーダーシップがあり、
仲間意識が強い」のだそうだ。しかし、ほかの血液型の人に言わせると、O型は
一見のんきそうだが、気が強くてわがままで、他人の意見を受け入れられないの
だそうだ。そして、AB型の人は何があっても冷静で、物事の全体を客観的に考
えるタイプが多いとされる。

血液型についての意見は人によって様々である。私が血液型を口にすると、
「科学的に何の根拠もない、いいかげんなことだ」と反論されることが多い。し
かし、血液型だけでなく、人の性格や行動をタイプに分けて、区別する方法はた
くさんある。それを参考にする人が多いのは、少しでも相手のタイプを知った上で、
安心して付き合いたいと思うからではないだろうか。血液型の話も、人間関係の
ストレスを和らげるための対策のひとつと言えるかもしれない。

? 答えましょう

A 「ABOAB」の文を読んで、質問に答えましょう。

1. 筆者は、血液型の話を信じていますか。
2. それはどうしてですか。
3. A型はどんな性格だとされていますか。
4. B型にはどんな人が多いですか。
5. O型はどんな性格だとされていますか。
6. AB型にはどんな人が多いですか。
7. 血液型の話に対してどんな反論がありますか。
8. 筆者は、人をタイプに分けて区別するのはどうしてだと言っていますか。

B 友達と次のことを話してみましょう。

1. 血液型の話を信じますか。それはどうしてですか。
2. 人をタイプに分けて区別する方法をほかにも知っていますか。

使いましょう

A 「～通り」という言い方を練習しましょう。

例

1. 初めて行く店でしたが、ちずの通りに歩いたら、すぐにわかりました。
2. 本に書いてある通りの作り方で料理を作ってみたが、あまりおいしくなかつた。
3. 友達が言った通り、秋の京都はとてもきれいでした。

練習

1. 駅にあった案内の通りに歩いたら、_____。
2. ざっしに書いてある通りの方法で_____てみた。
3. 友達が言った通り、_____は_____。
4. 言われた通りに_____が、_____。
5. 聞いていた通り、日本の_____は_____。

B 「～のもの」という言い方を練習しましょう。

例

1. A: 今晚、どうですか?
B: すみません、あした早いんです。**～のもの**、部下の出張に付き合わなければならなくなつて…。
2. 友達に何かあったのではないかと心配だ。**～のもの**、(ほかにも理由はあるのだが、一番の理由は)最近何となく楽しそうに見えないからだ。
3. 学校をやめようかと思っている。**～のもの**、前から父の調子が良くないからだ。

練習

1. A: 今晚、どうですか?
B: すみません、あした早いんです。**～のもの**、_____で…。
2. 母が何か困っているのではないかと少し心配だ。**～のもの**、_____からだ。
3. 仕事をさがそうかと思っている。**～のもの**、_____からだ。
4. 付き合っている人とわかれようと思う。**～のもの**、_____。
5. 姉は、最近あまり体の調子が良くなさそうだ。**～のもの**、_____。

C 「～とする／される」という言い方を練習しましょう。

例

1. (よく調べた結果、)けいさつはきのうの自転車事故の原因を信号無視であるとした。
2. 漢字が日本に伝わったのは(昔書かれた物から)1600年前のことだとされる。
3. このデータでは、日本は2030年までに1000万人ほど人口が少なくなるとされている。

練習

1. 病院は_____の原因を_____とした。
2. _____のは_____のことだとされる。
3. 地球の人口は、_____とされている。
4. 学校側は_____を_____とした。

5. 最近のデータでは、日本に来る外国人は、_____とされている。

D 「～によって」という言い方を練習しましょう。

例

1. 日本には4つのきせつがあり、きせつ**によって**服の色や食べ物が変わります。
2. コンビニを利用する人の年齢は、朝、昼、晩と**時間によって**違うそうだ。
3. 毎日の生活で何を大切だと考えるかは、**人によって**様々だ。

練習

1. きせつ**によって**_____が変わります。
2. _____は、**時間によって**違う。
3. _____かは、**人によって**様々だ。
4. 私はその日の気分**によって**_____たり、_____たりしている。
5. _____は、_____によっていろいろある。

まとめましょう

次の質問に答えて、「ABOAB」の文をまとめてください。

1. 血液型を使って何をするという話ですか。
2. それに対してどんな反論がありますか。
3. 人が人をタイプに分けようとするのはどうしてですか。

話しましょう

次のことを話し合ったり、作文に書いたりしましょう。

1. 「血液型の話」
 - 血液型の話を信じますか。
 - それはどうしてですか。
2. 「私の性格」
 - 自分はどんな性格だと思いますか。
 - ほかの人からはどんな性格だと言われますか。



A 青い漢字の読み方と書き方を練習しましょう。

何型[なにがた]	性格[せいかく]	傾向[けいこう]
対照的[たいしょうてき]	印象[いん・しょう]	与える[あたえる]
客観的[きやっかんてき]	科学[かがく]	反論[はんろん]
付き合う[つきあう]	和らげる[やわらげる]	

B 青い漢字の読み方をおぼえましょう。

分ける[わける]	血液[けつ・えき]	～代わり[がわり]
慎重[しん・ちょう]	対照的[たいしょうてき]	実は[じつは]
典型的[てん・けいてき]	冷静[れい・せい]	客観的[きやっかんてき]
根拠[こん・きょ]	対策[たいさく]	

おもいだす



新しい言葉

おもい出す	れんそう 連想スル	きたく 帰宅スル	よ呼び出す
ふうナ・ニ	し・じ 指示スル	～ままで	(汗)まみれ
ぬく	こえ 声がする	せいかく 正確ナ・ニ	～べき
ひ陽	え 得る	い 生き返る	それとも
(かわき)き (乾き)きる	ごくごく(と)	のどを鳴らす	ようやく
かいほう 解放スル	みあ 見合させる	うなづく	ゆうすず 夕涼み
～がてら	きげん 機嫌がいい	つれだす	はなび 花火
もっとも	とうじ 当時	～のことだから	
打ち上げ[←打ち上げる]		とおりがかり[←通りがかる]	
ゆかた	ゆったり(と)スル	こし 腰を下ろす	みつめる
いっしゅん 一瞬	あたり	くら 暗やみ	しゅんかん 瞬間
きっかけ	ふと	(10年)余り	ねだる
なが 眺める	～つつ		



いつしょに考えましょう

- ①「夏」と聞くと、どんなことを思ったり、考えたりしますか。
- ②子供のころ、夏休みにどんなことをしましたか。
- ③子供のころ、よく何をして遊びましたか。


読みましょう
昼のにおい

父のことを思い出すと、決まって連想するにおいがある。夏の夕方、父は帰宅すると、兄と私を庭へ呼び出して、庭仕事を手伝わせた。「ここはこんなふうに…」と指示されるままに、ふたりは汗まみれになって草を抜き土を運んだ。疲れたなと思い始めたころに「ご飯ですよ」と母の声がする。父が「最後に水をやって、
5 それから手を洗って食事にしよう」と言うと、そのとき、「昼のにおい」がした。
正確には、昼の終わりのにおいとでも言うべきだろう。一日中強い陽に焼かれ
た草木が、水を得て生き返るにおい、それとも、乾き切った土が、ごくごくとの
どを鳴らして水を飲むにおいだったのだろうか。どちらにしても、ようやく庭仕
事から解放され、兄と顔を見合わせてにっこりうなづき合うときの、忘れられな
10 いうれしいにおいであった。

手伝いへのお礼のつもりもあったのだろう、「夕涼みがてら…」と機嫌のいい
日の父は、私たちを庭へ連れ出し花火をした。もっとも、花火といつても、当時
のことだから、打ち上げ花火や、通りがかりの人を驚かせるほど大きな音を出
す物はない。ゆかた姿でゆったりといすに腰を下ろす父の所へ、花火を持って行
15 き火をつけてもらう。「これが、最後」父がそう言って火をつけてくれた1本が
消えると、それまで火の花をじっと見つめていた目には、一瞬辺りが暗やみになっ
てしまう。その瞬間、もう一度「昼のにおい」がした。子供の時間が終わる少し
さびしいにおいだった。

昔のことをすべて覚えているわけではないが、何かがきっかけになって、ふと
20 思い出すことがいくつかある。父が亡くなつて10年余り。子供たちにねだられ、
ときどき公園で一緒に花火をする。花火は子供たちにも思い出として残るのだろうか。大きくなつて懐かしく思い出すのはどんなことだろうかと、楽しそうな子
供たちの姿を眺めつつ、「昼のにおい」を思い出す。


答えましょう
A 「昼のにおい」の文を読んで、質問に答えましょう。

1. 帰宅した父は子供たちに何をさせましたか。
2. いつ「昼のにおい」がしますか。
3. 筆者は、「昼のにおい」は、正確にはどんなにおいだと言っていますか。
4. そのにおいがすると、どんな気持ちになりましたか。
5. もう一度「昼のにおい」がするほどのときはどうですか。
6. そのとき、どんな気持ちになりますか。
7. 夏、筆者は、子供たちにねだられて、何をしますか。
8. そのとき、どんなことを考えますか。

B 友達と次のことを話してみましょう。

1. 筆者が今また「昼のにおい」を思い出すのはどうしてですか。
2. 子供のころのことで、今でも思い出すのはどんなことですか。


使いましょう
A 「～まま」という言い方を練習しましょう。
例

1. 買うつもりはなかったのに、店の人に言われるままに(よく考えないで)買つてしまつた。
2. 疲れていて、(けさなければいけないのに)電気をつけたまま、寝てしまった。
3. ひさしぶりに会つた友達は、(変わっていると思ったのに)学生時代のままでした。

練習

1. そのつもりはなかったのに、友達にさそわれたままに_____。
2. 疲れていて、_____ たまま、寝てしまつた。
3. ひさしぶりに会つた友達は、_____ のままでした。
4. 自分が感じたままに_____。
5. 後でかたづけますから、_____ たままでしておいてください。

B 「～べき」という言い方を練習しましょう。

例

1. 学生は、できるだけ多くの時間を勉強のために使うべきです。
2. 親の言うままに進学するのではなく、しょうらいのことは自分で考えて決めるべきだと思います。
3. 考え方は人によって違うのだから、自分だけが正しいと考えるべきではないでしょう。

練習

1. まだ学生だから、_____べきです。
2. _____か(どうか)自分で考えて決めるべきだ。
3. _____から、_____と考えるべきではない。
4. _____は、_____べきだと言われました。
5. 知らない人の前で、_____べきではない。

C 「～のことだから」という言い方を練習しましょう。

例

1. A: 田中さん、おそいですね。
B: いや、(みんなも知っているように、いつもおくれて来る)田中さんのことだから、もう来るよ。
2. A: ベンさん、最近どうしてるかなあ。
B: ベンさんのことだから、きっと今ごろカラオケで歌ってるんじゃない。
3. A: おいしいですね。これ、ハナさんが作ったんですか。
B: ああ、ハナさんのことだから、みんなに喜んでもらおうと、いっしょに作ってくれたんでしょうね。

練習

1. A: 田中さん、おそいですね。
B: いや、田中さんのことだから、_____。
2. A: ベンさん、夏休みどうしてるかなあ。
B: ベンさんのことだから、きっと_____。
3. A: ハナさんは、今日、お休みですか。
B: さあ、ハナさんのことだから、また、_____。

4. A: ロペスさんの試験はどうだったんでしょうか。

B: そうですね。ロペスさんのことだから、たぶん_____。

5. A: あれ、たのんだピザ、まだ来ないの。

B: ああ、あの店のことだから、_____。

D 「きっかけで／に」という言い方の使い方を練習しましょう。

例

1. 母の入院がきっかけで、(人の役に立つ仕事がしたいと思い)医者になろうと決めました。
2. 手術をきっかけに(して)、(また体の調子が悪くなると困ると思って)たばこをやめることにしました。
3. 友達の紹介がきっかけになって、(何度か会ううちにいい人だと思い始め)付き合うようになりました。

練習

1. 友達のさそいがきっかけで、_____。
2. 入院をきっかけに、_____ことにしました。
3. 先生のお話がきっかけになって、_____ようになりました。
4. 今度の事故をきっかけにして、_____。
5. _____がきっかけになって、_____。

 **まとめましょう**

次の質問に答えて、「昼のにおい」の文をまとめてください。

1. 父を連想させるにおいというは何ですか。
2. それはどんなにおいですか。
3. 父を亡くしてから、筆者がそのにおいを思い出すのはいつで、そのときどんなことを考えますか。